

クレープのフランチャイズ店をやりませんか

(株)大阪彩都総合研究所

株式会社クラフトフーズ(本社・東京都渋谷区、慶野弘美代表取締役)は全国の信用金庫を通じて、各金庫の取引先の中から、クレープを中心とした飲食店のフランチャイズ契約をする加盟店(フランチャイジー)を募集しています。この飲食店は、洋菓子のクレープをメインに39種のメニューを持ち、同社は「低額投資で大きな成功が得られる」とPRしています。信金中金が100%出資している信金キャピタル(株)は7月、この(株)クラフトフーズにつき「成長軌道に乗ってきた」として、3400万円の投資を行いました。成長力があると見ているようです。クレープの店に関心のある方は検討されてみてはいかがでしょうか。

クラフトフーズとはどんな会社

信金キャピタルニュース(平成15年7月号)によると、この会社は99年3月設立の若い会社。資本金1億7300万円、年商5億5700万円、従業員60人。2002年12月期決算は年商5億5500万円、経常利益は3900万円となっています。2000年に米国でクレージークレープスという会社を設立して、元日本コカコーラ副社長を役員に迎え入れ、同社の経営手法を取り入れて「差別化」を生み出す研究をしてきました。

菓子の市場規模はここ数年、連続して縮小していますが、「他に類を見ない生地柔らかさとトッピング(食べ物の上にかけてたり乗せたりする食材)の豊富さなどから、子供から大人まで人気が高く、好業績の原因になっている」(同ニュース)とのことです。同じ小麦粉、卵、バター、牛乳などを薄焼きして作る商品ですが、味の出し方、値段などの違いで、幅広い層に繰り返し買ってもらえる、とみています。

「買い」の理由は

この会社を「買い」と見た理由について、信金キャピタル投資部では「同社はクレープの店だけです。全国に40の直営店をもっていますが、いずれも中堅、地方都市ばかり。この時点ですでに黒字ですがこれから東京23区など都会のマーケットに出てゆけば、さらに成長することが期待できます。また、このクレープは1枚400円弱なので、不況下でもほとんど影響を受けないと見られます」と話しています。なお、大阪府下にもまだ、ほとんど展開していません。

クレープ事業で最大の課題は「立地」ということで、(株)クラフトフーズは人

通りの多い場所での出店に徹しています。大手スーパーのイオン、大型娯楽施設を展開するセガ、ヒューレックスなどと組んで店舗展開を図ってきましたが、最近、こうした集客力のある会社から出店要請が来るようになってきたということです。信金キャピタル㈱も「このこと自体、事業が軌道に乗りつつある証左といえる」としています。

なお、昨年11月にはたこ焼きの「京たこ」を買収しており、クレープと同じ店で売るとのことです。

加盟店になるための応募条件は

店の名前は「おしゃれな『ザ・クレープ・デリ店』」

募集のPR文句は

「まだまだ発展の可能性を秘めたザ・クレープ・デリ。当社のクレープは甘さ控えめにしていますので、メニューの幅も広がり、リピート客を捕らえます。」

契約内容

フランチャイズ契約

契約期間

2年。以後1年ごとの自動更新

開業資金

開業資金は470万円より（内訳は店舗開設準備金350万円、什器備品100万円、研修費20万円）。保証金無し。加盟金は100万円。

（このほか、小さな什器備品類、工事代金、店舗の保証金、賃料などは加盟店の負担になるから最低でも700万円は必要になるとみられる。）

ロイヤリティー

売上げの2%。

開業前の研修制度

現場で4日間の短期教育研修を実施。3日間の開業支援とオープン指導がつく。

開業後の教育体制と待遇

定期的にFC本部から経験豊富な監督者が巡回し、販売指導、品質管理、販促管理、新メニュー提案などあらゆる支援をする、としている。

フランチャイズ契約

事業者（フランチャイザー）が加盟店（フランチャイジー）に対して、商標、サービスマークなどの使用や経営上のノウハウの供与などの特典を与えて、同一のイメージのもとで商品を販売させ、加盟店はその対価を払う。加盟店はフランチャイザーからは独立した事業者だが、フランチャイザーの強力な管理を受けることになる。

クラフトフーズへの問合せは、本社（東京都渋谷区神宮前4-32-12 ニューウエーブ原宿3階）

03-3479-0227 Fax 03-3479-8225 へ

以上